

秋田魁新報

2017年8月9日(水) 掲載

**創業サポーターズクラブ
若手経営者2人
販売のこつ伝授**
秋田市でワークシヨップ

起業家やベンチャー企業を支援する秋田銀行の「創業サポーターズクラブ」のワークシヨップがこのほど、秋田市南通のカフェ・亀の町ストアで開かれ、県内の若手経営者2人の講演を通じて経営課題の解決に向けたヒントを探った。

サポーターズクラブは、起業家間の情報交流や人脈づくり、資金調達支援などを目的に今年1月に設立。初回のワークシヨップでは、会員ら5人が販路開拓やマーケティング

を効果的に進める手法を学んだ。
薬局や医療機関向けに除菌消臭水を製造・販売しているローカルパワー（同市八橋）の寺田耕也社長（36）は、得意先の新規開拓を考えるため、医薬品卸と勉強会を重ねて営業展開を図ったと説明。都会



販路開拓やマーケティングを効果的に進める手法を学んだワークシヨップ

に比べ、地方は専門家との接点が身近になるメリットを挙げ、「マーケットを県外に求めれば、地方発のビジネスは面白い」と語った。

大田市太田町に工場があるロースメイ（本社相模原市）の原田青社長（39）は、季節や数量限定で製造している人気商品「オレンシスライスジャム」を例に、自社の販売戦略を紹介。「良いものこそちゃんとした値段で売り出す姿勢が大切」と強調した。

（棟方幸人）